

統計

東京大学大学院に関する統計資料(二)

古屋野 素材

はじめに

本稿は、明治十九(一八八六)年から昭和二十(一九四五)年までの帝国大学時代の東京大学の大学院学生の数量的動向の一覽を目的とした前回『東京大学史紀要』第一号)の試みに続けて、同じ時期の他の帝国大学の大学院の状況をも集計一覽して、帝国大学全体の中における東京帝国大学大学院の性格を検討するための資料整理をめざすものである。

いうまでもなく、大正七(一九一八)年の所謂『大正新大学令』の公布以降、帝国大学以外にも官公私立の大学が存在することとなり、それらも大学院(単科大学にあっては研究科)を正規に設置することが認められたため、大学院問題は帝国大学固有のものではなくなつてゆく。しかしながら、在籍者数についても、また必ずしも制度的に充実しているとはいえない帝国大学大学院の実態と較べてみても、その他の大学の大学院の占める比重は圧倒的に小さい。もちろん、「研究」及び研究者の形成ということの把握方に係わる「学問観」が大学において歴史的にどのように制度的に表象されてきたのかという観点から、日本の大学史における大学院・研究科の問題構造を考察するにあたっては、帝国大学以外の大学についての検討は不可欠であるが、ここでは対象を限定した。また今回は、在籍者数の動向の面から、各専攻分野がそれぞれどのような特徴を示すかをみることにいささかの重点をおいて、集計整理を試みた。

なお、前回同様、集計した数値はすべて各年度の「文部省年報」に依拠し

東京大学大学院に関する統計資料(一)

た。

▽グラフ一覽

- ① 《帝国大学大学院在籍者数—大学別》
- ② 《全帝国大学大学院在籍者数の専攻分野別の内訳》
- ③ 《各帝国大学大学院の昭和二〇年度までの入学者総数の、大学間、専攻分野間の割合》
- ④ 《帝国大学大学院在籍者の、学部(分科大学) 学生在籍数に対する比率》
- ⑤ 《大学院(医) 在籍者の医学部(医科大学) 学生在籍数に対する比率》
- ⑥ 《大学院(工) 在籍者の工学部(工科大学) 学生在籍数に対する比率》
- ⑦ 《大学院(理) 在籍者の理学部(理科大学) 学生在籍数に対する比率》
- ⑧ 《大学院(農) 在籍者の農学部(農科大学) 学生在籍数に対する比率》
- ⑨ 《大学院(法・文・経・法文) 在籍者の文科系各学部(分科大学) 学生在籍数に対する比率》
- ⑩ 《東京帝国大学大学院在籍者の学部(分科大学) 学生在籍数に対する比率—専攻分野別—》
- ⑪ 《京都帝国大学大学院学生数の推移》
- ⑫ 《京都帝国大学大学院専攻分野別在籍者数》
- ⑬ 《東北帝国大学大学院学生数の推移》

- ⑭ 《東北帝國大学大学院專攻分野別在籍者数》
- ⑮ 《九州帝國大学大学院学生数の推移》
- ⑯ 《九州帝國大学大学院專攻分野別在籍者数》
- ⑰ 《北海道帝國大学大学院学生数の推移》
- ⑱ 《北海道帝國大学大学院專攻分野別在籍者数》
- ⑲ 《大阪帝國大学大学院学生数の推移》
- ⑳ 《大阪帝國大学大学院專攻分野別在籍者数》
- ㉑ 《名古屋帝國大学大学院学生数の推移》
- ㉒ 《名古屋帝國大学大学院專攻分野別在籍者数》

▼各グラフの説明

①……七帝國大学の各年度の大学院在籍者数の推移を示したものであるが、次の諸点に注意された。

- (1) 京都帝大の場合、大学の開設は明治三〇（一八九七）年であるが、大学院が開設されて学生数が計上されるのは二年後の明治三十二（一九〇九）年である。その他の大学では、大学開設年度に大学院学生数も計上されている。
- (2) 東北及び北海道の両帝大に關することがらであるが、大正二（一九一三）年から同六（一九一七）年まで、東北帝大に計上されている農學專攻の大学院学生は、いうまでもなく、東北帝國大学札幌農科大学に所属する者であるため、東北帝大の院生数に加えず、この數値を北海道帝大の方へ移した。従つて、グラフ上に、大正七（一九一六）年の開設以前の五年度分についても北海道帝大の推移が記録される形になつた。
- ②……毎年度の、全帝國大学の大学院在籍者数の總計の推移（一番上の折れ線グラフによつて示される）を、その内訳として專攻分野毎に各大学の在籍者を合計したものを層状に重ねる形で示したものである。

明治三十二年から大正二年までの「理工」は、京都帝大にあつた、理學關係學科と工學關係學科を一括した「理工科大学」に対応して、大学院のコースも「理工學ニ關スル事項ヲ研究スル」ものとして分類されていたこ

とを示す。

また昭和元年から同二十年までの「法文」は、東北及び九州の兩帝國大学におかれていた「法文學部」に対応する大学院のコースを示す。（ただし、法文學部そのものの開設は、東北が大正十一年、九州が大正十三年である。）

③……各帝國大学大学院について、開設から昭和二十年度までの、毎年の入學者數の累積をもつて各大学院の規模を示すひとつの指標とみなし、円の面積比で各大学ののべ入學者數の比例を示し、また各大学毎に專攻分野別ののべ入學者數の比例を扇形面積比（中心角度比）で示したものである。

④……各帝國大学において、学部（大正七年度までは分科大学）学生在籍數を百とした場合の大学院在籍者數の比率の年次動向を示したもので、帝國大学における大学院の比重とでもいうものを学生規模の面でもらえようとしたものである。

⑤⑥⑦⑧⑨……④と同じやり方で、專攻分野別に、各帝大の大学院の比重の推移を比較したものである。

⑩……東大について、各專攻分野別の大学院の比重を学内比較したものの（⑥）における東大についての數値を集めたもの。

⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳……⑩の各グラフを通じて、昭和十六年度をみると、ほとんどの折れ線が不自然ともいえる凸状をなしているが、これは、戦時措置として急遽、大学・専門学校の修業年限短縮が決定され、十六年度は三ヶ月短縮で十二月卒業となつたため、十二月末日を現在とする「文部省年報」の学部学生數は卒業生を差引いたもの（院生）を示し、一方、大学院学生數は、年限短縮の動向と必ずしも連動しなかつたことによると思われる。

㉑㉒㉓㉔㉕㉖……東大以外の六つの帝國大学における、大学院学生の在籍・入學・卒業・中退に關する年度毎の數と、專攻分野別の在籍者數の推移をグラフに示したものである。（東大については『東京大学史紀要』第一号の拙稿を参照されたい。）

(1) 京都帝大において、大正二年度まで存在した「理工科大学」に対応して、大学院のコースも「理工學專攻」となつてゐる点については既に触れたが、

グラフにおいては、「理工学専攻」時代も便宜上「理学」と同じ破線を用いている。

(2) また、東北帝国大学札幌農科大学に所属した農学専攻の大学院学生の扱いは(グラフ④⑤⑥)に關連)についても、グラフ①の説明の中の(2)で触れた通りである。

(3) 特に、京都・東北・北海道の三帝大において、卒業者数のあらわれ方ははなはだ不連続で、いささか気になるが、たちいっての検討は今後の課題としたい。(グラフ⑦⑧⑨)に關連)

▼グラフの概観

『文部省年報』中の各帝国大学の大学院学生数に關する記録をもとに、単純な集計作業によって描いただけのこれらグラフを見ても、今後の検討課題の材料となるようなポイントがうかがわれる。

注意をひく諸傾向のなかでも、次のいくつかは特に注目されよう。

(1) 大学院在籍者数については、大正三(一九一四)年を底として、前に明治四十二(一九〇九)年をピークとする山、後に昭和十一(一九三六)年をピークとする山があること。(主としてグラフ①②④)に關連)

(2) この「前の山」は、主として東大の法科院生数の厚い層に起因しており、「後の山」は、主として京都・東京の文科、更には京都や九州をはじめとする各帝大の医科院生数のめざましい伸びや堅調により支えられていること。(主としてグラフ②④⑤⑥)に關連)

(3) グラフ②でみると、昭和20年までの入学者総数で見ると、文科系院生の割合が、東大ではめざましく、京大でも五〇%を超えるのに対し、その他の帝大は理科系が圧倒的であること。

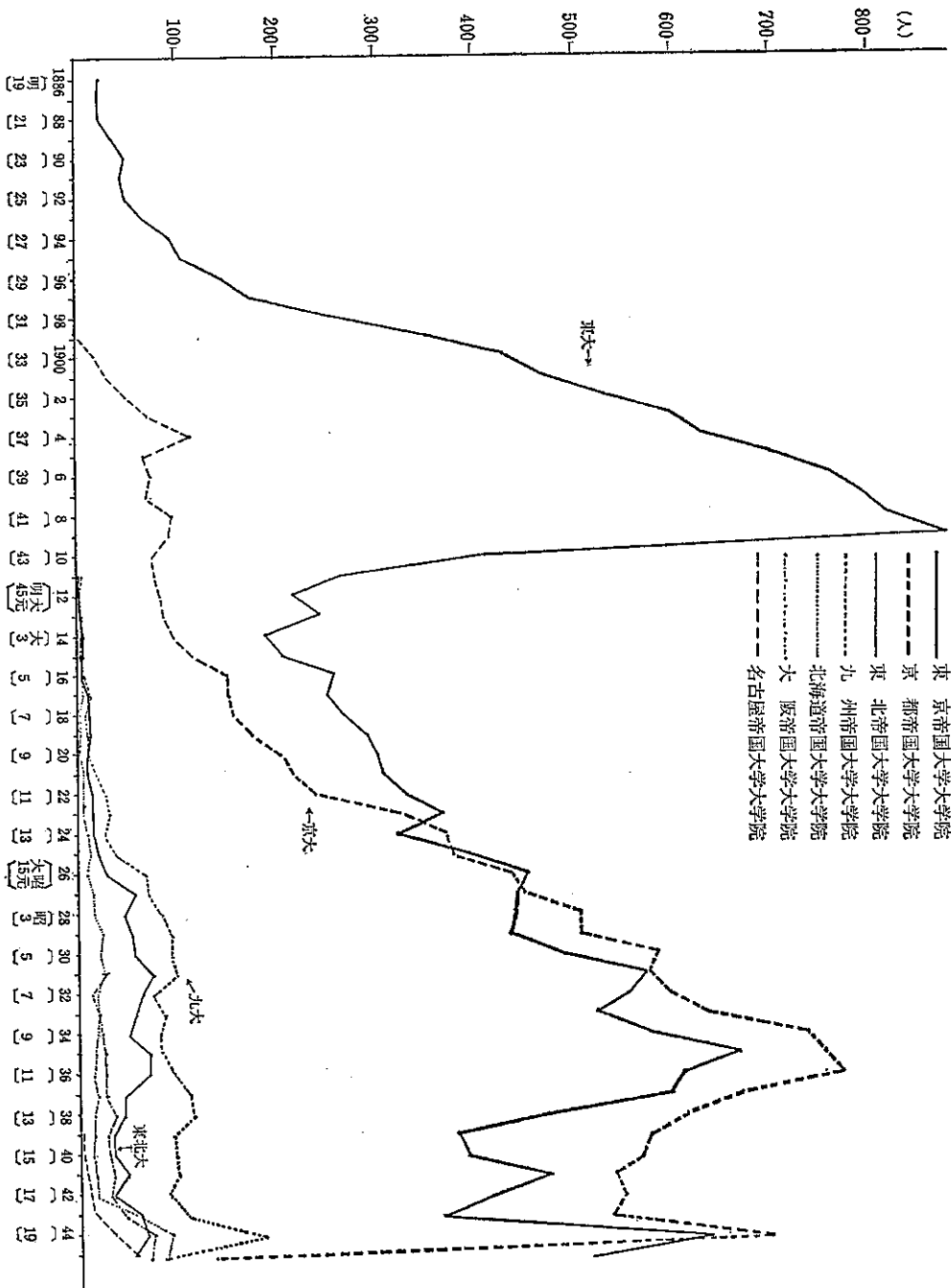
(4) しかも、京都以下の各帝大において、医科院生の割合がそれぞれ目立って大きいのに、東大では、十%以下であること。

これらの諸点をはじめ、大学院をめぐっては、実態を明らかにしつつ考察を加えてゆかねばならぬ問題が数多く存在するが、今回の作業を通じては、特

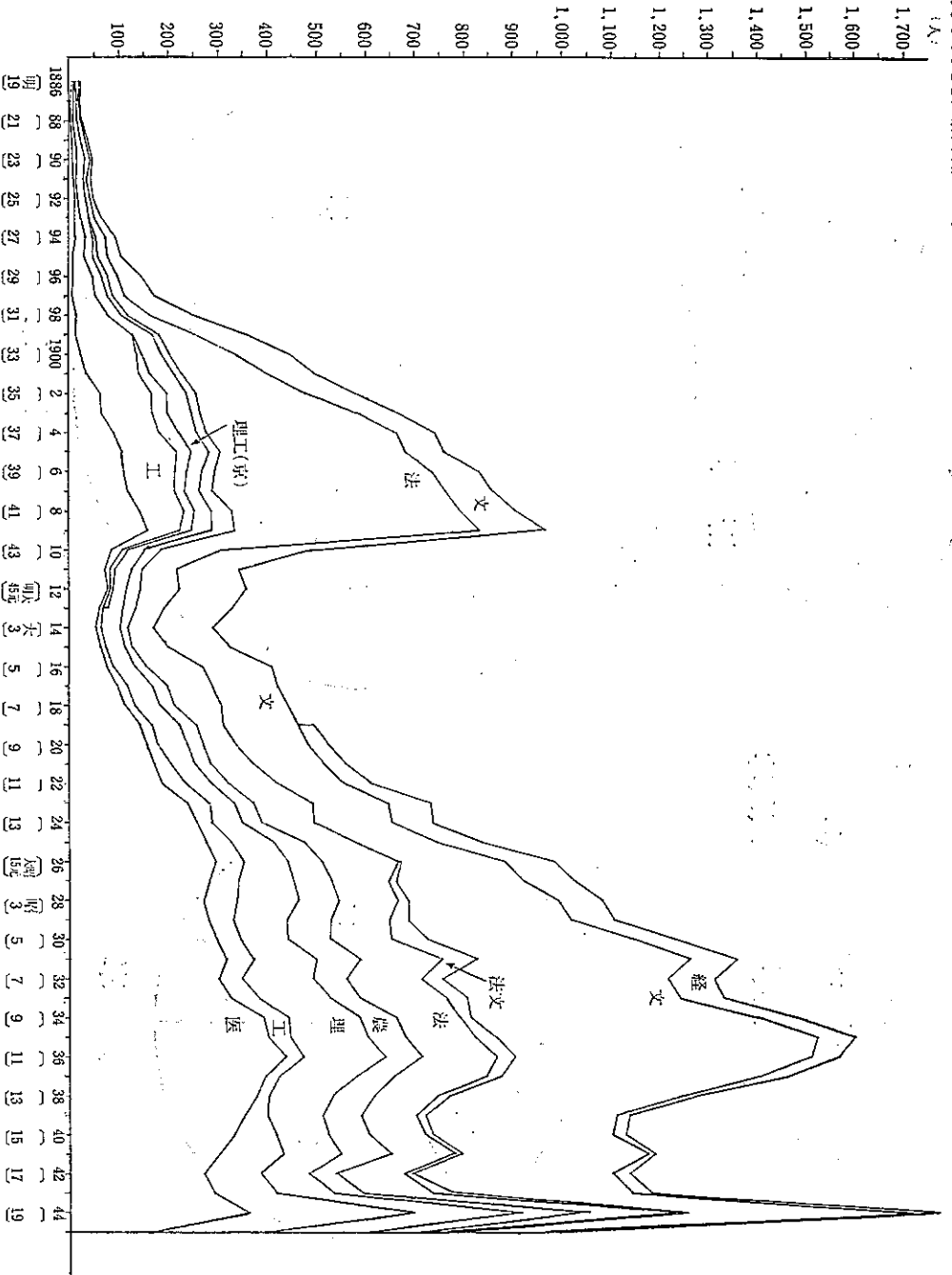
に、「後の山」の形成に極めて主導的な傾向を示した京都帝国大学大学院が目につき、東大の大学院の問題とも關連つけて考察してゆく必要性を感じた。

(こやの そざい・百年史編集室)

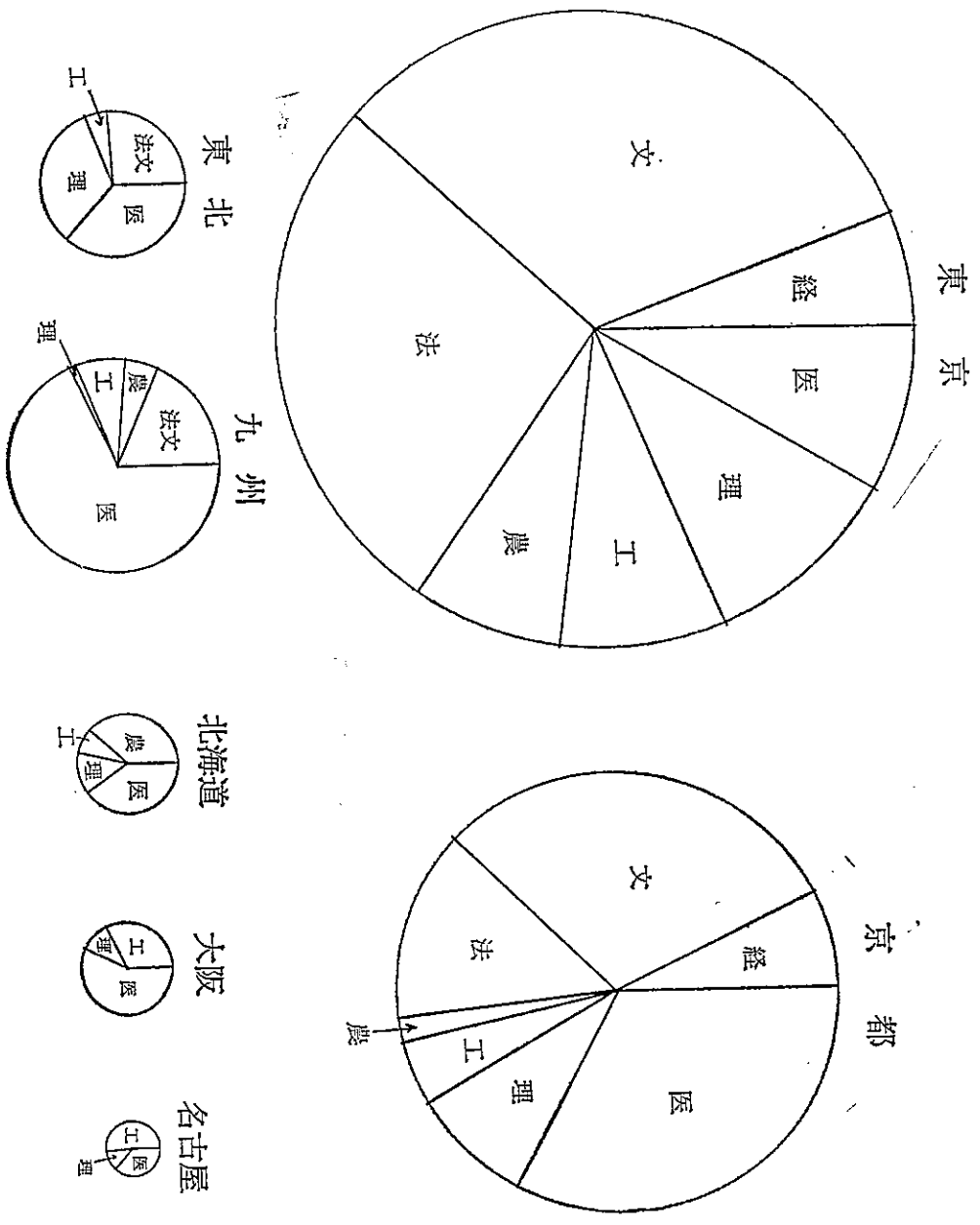
① 帝国大学大学院在籍者数



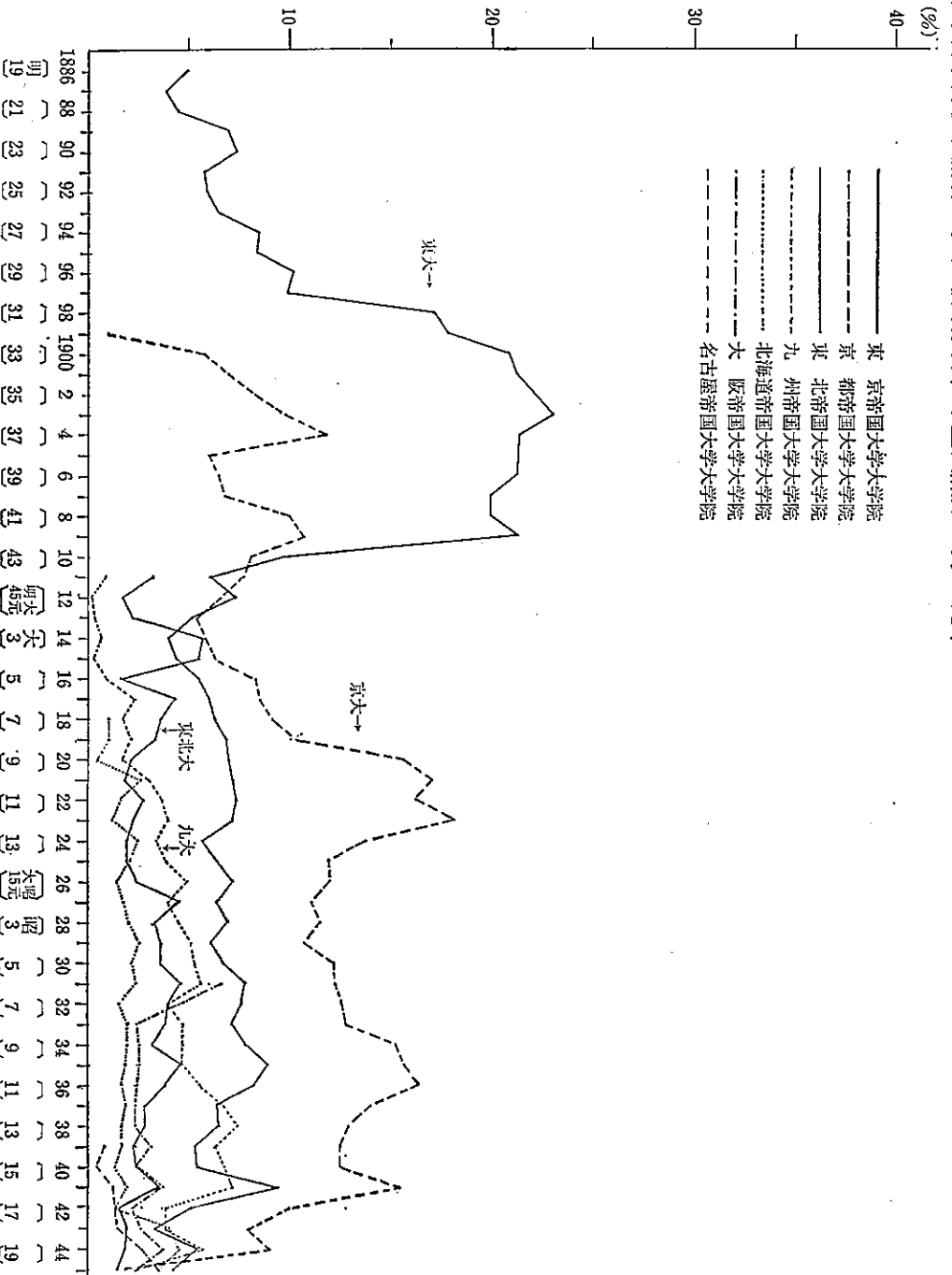
② 全帝国大学院在籍者数の専攻分野別の内訳



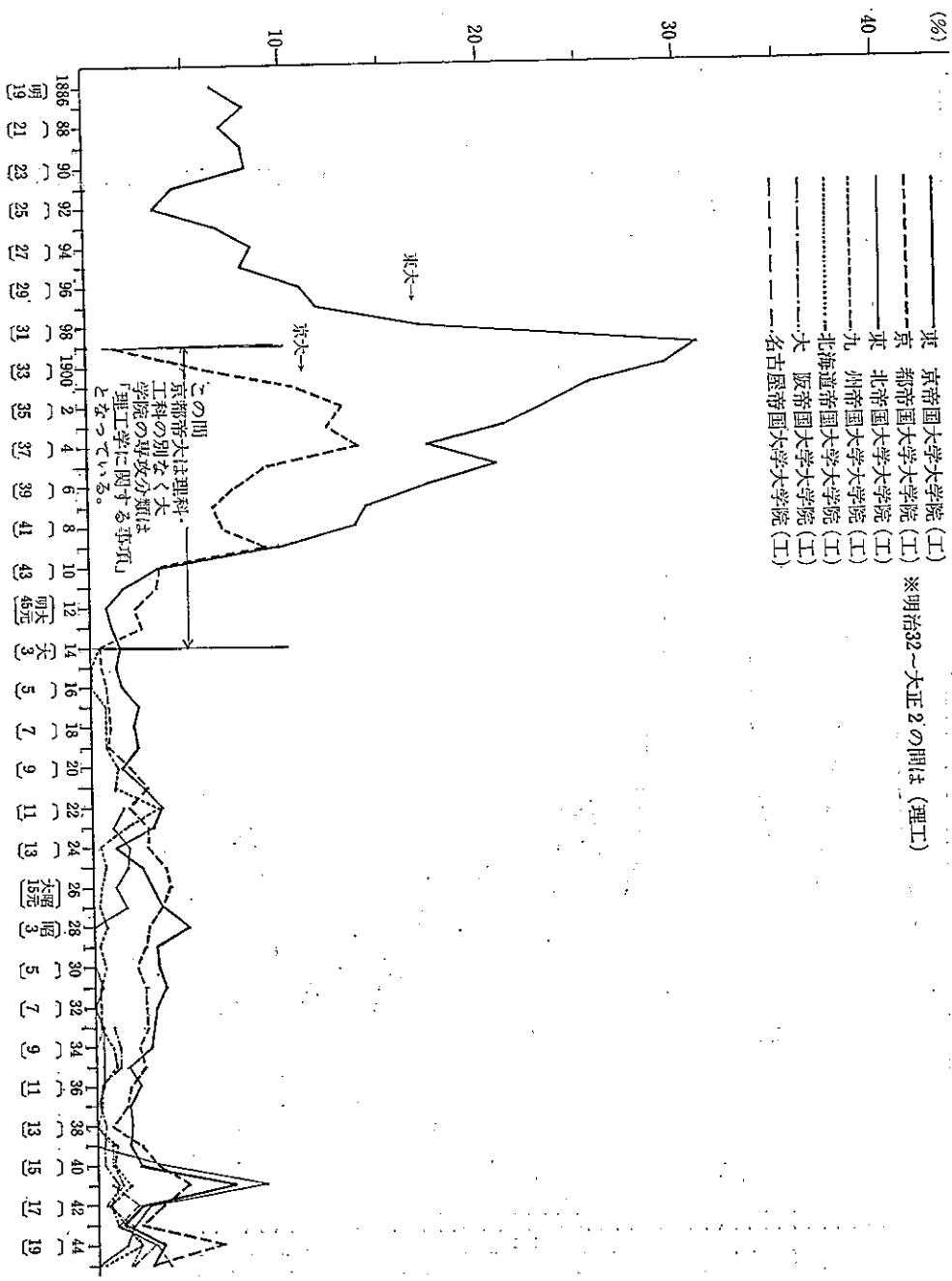
③ 全帝国大学大学院総入学者中の大学別・専攻分野別比率



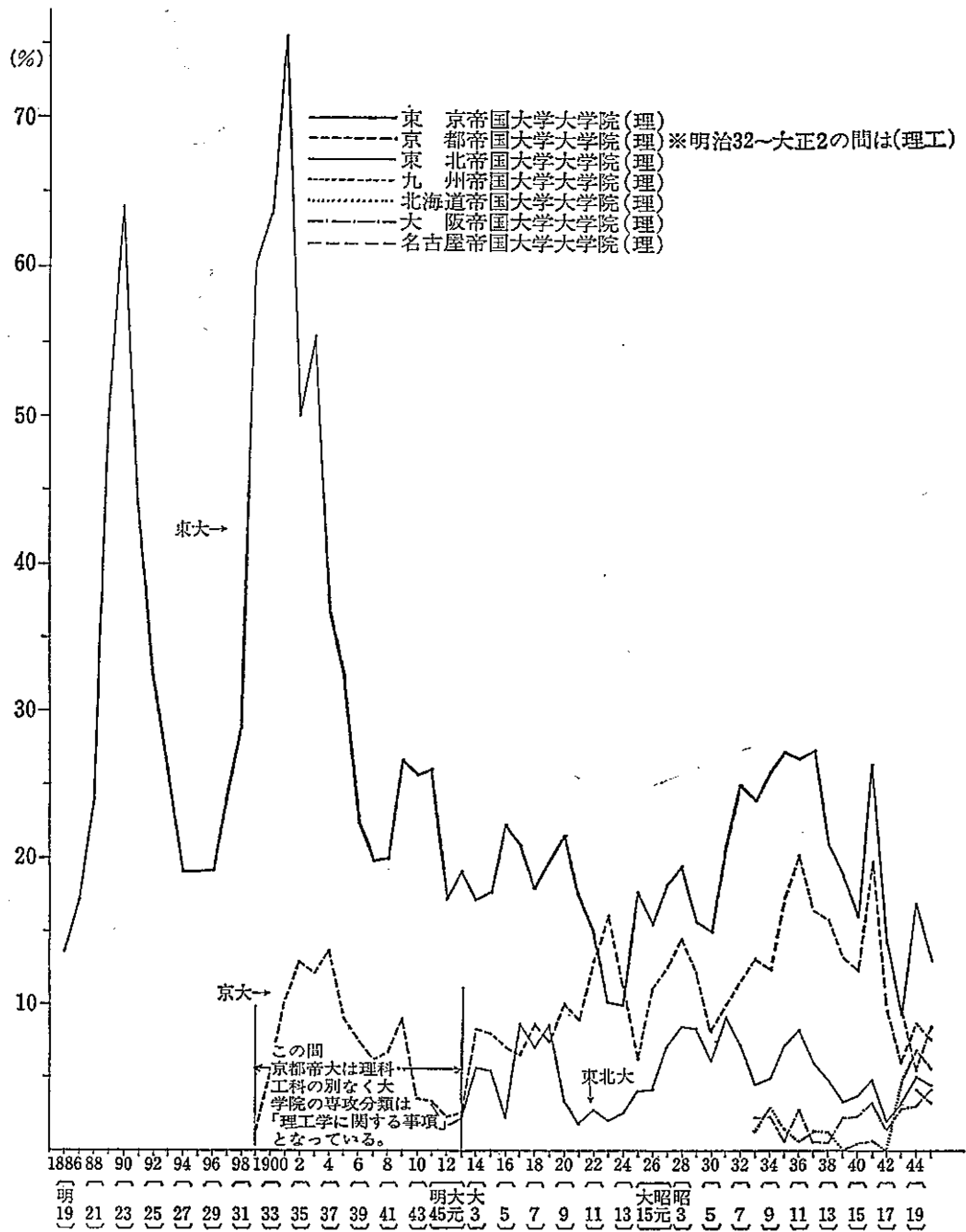
④ 帝国大学大学院在籍者の学部 (分科大学) 学生在籍数に対する比率



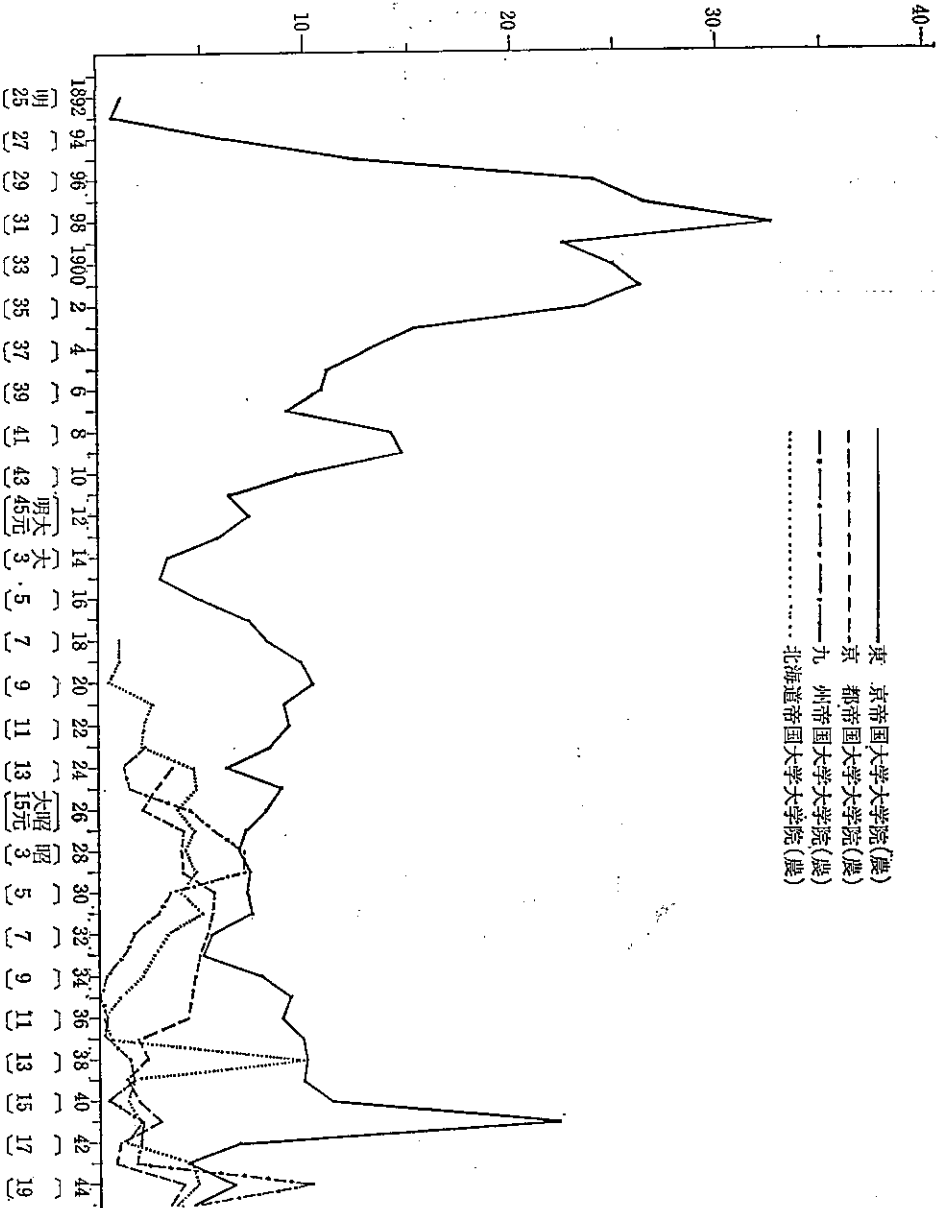
⑥ 大学院 (工) 在籍者の工学部 (工科大学) 学生在籍数に対する比率



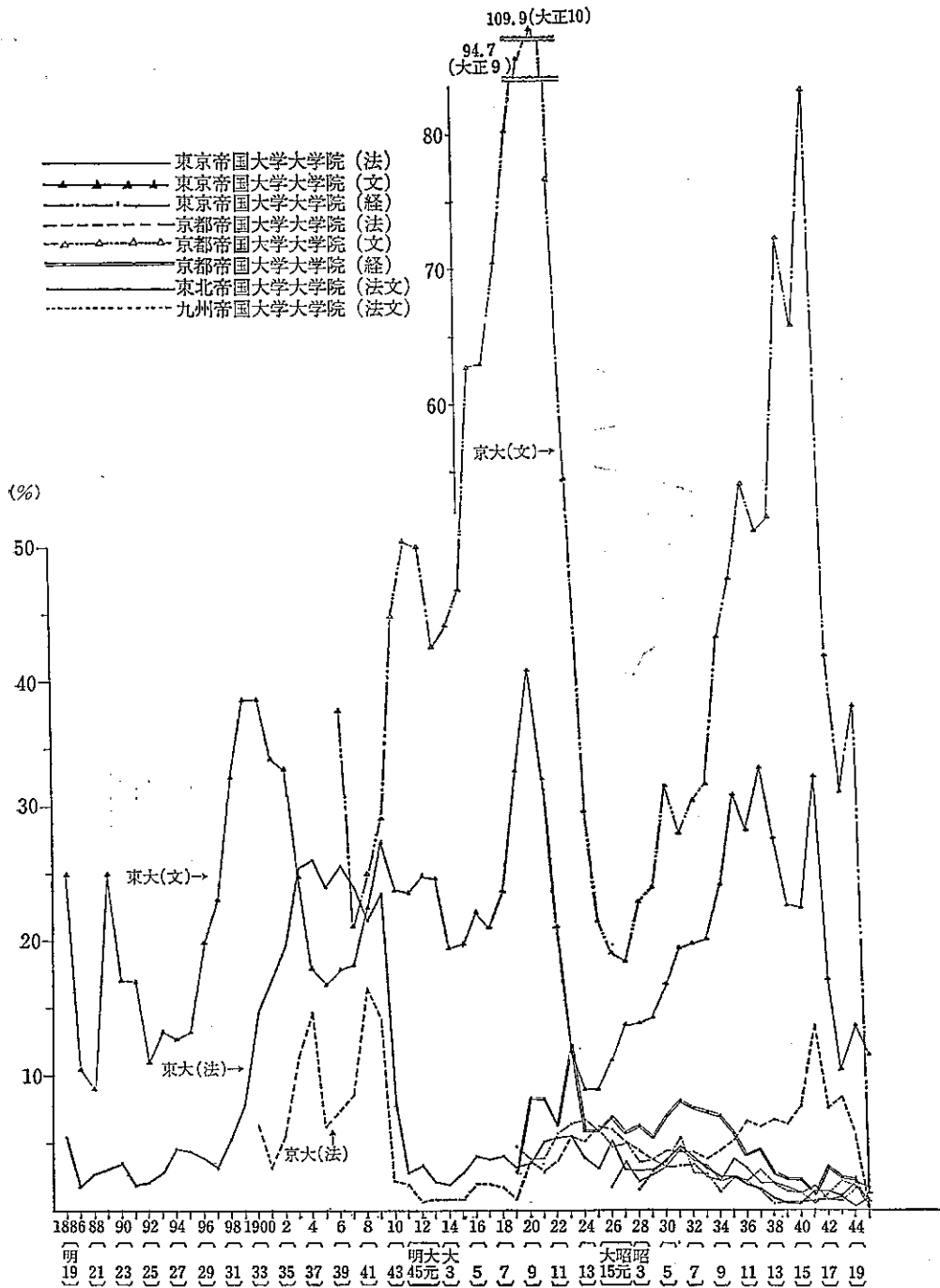
⑦ 大学院（理）在籍者の理学部（理科大学）学生在籍数に対する比率



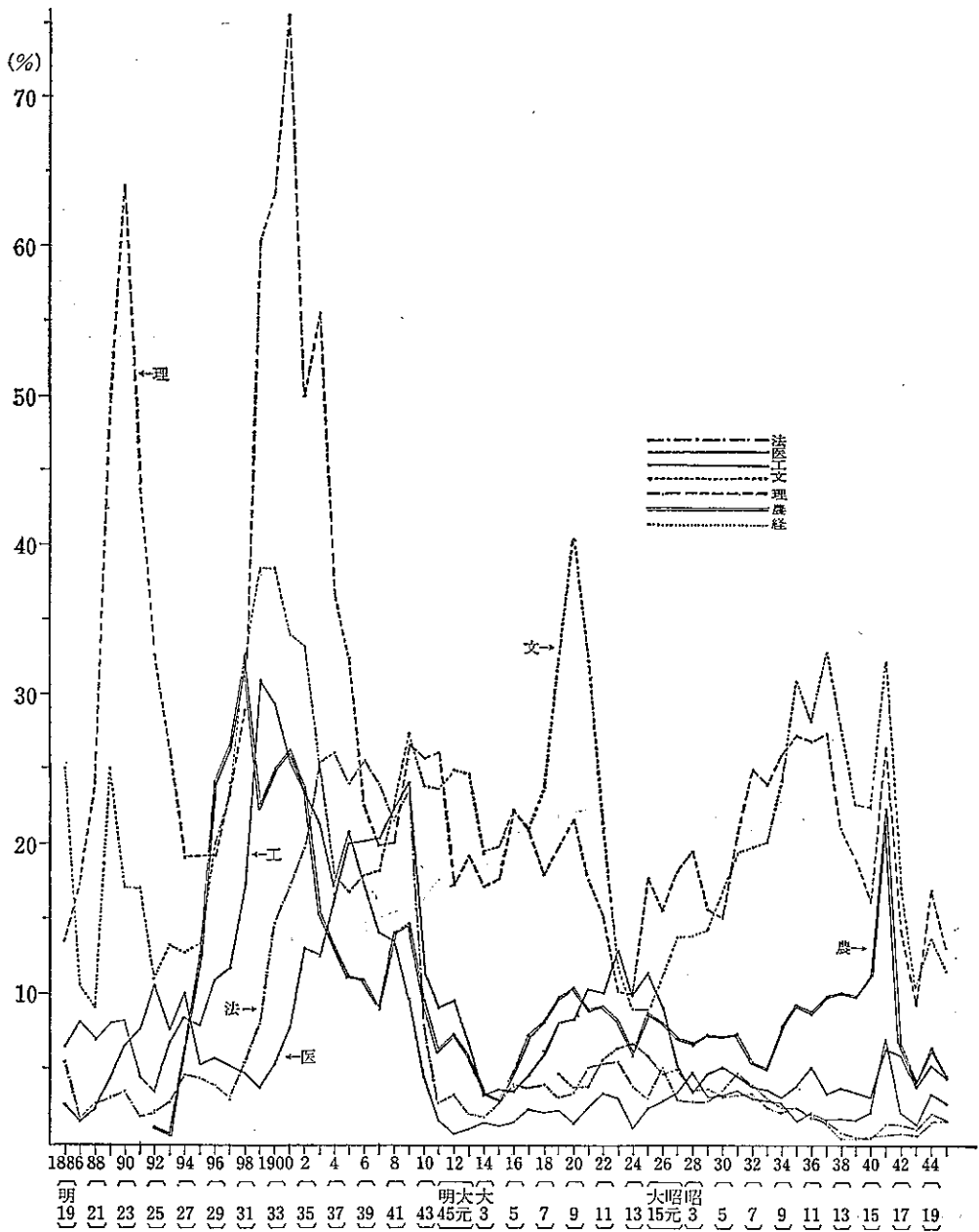
③ 大学院 (農) 在籍者の農学部 (農科大学) 学生在籍数に対する比率 (%)



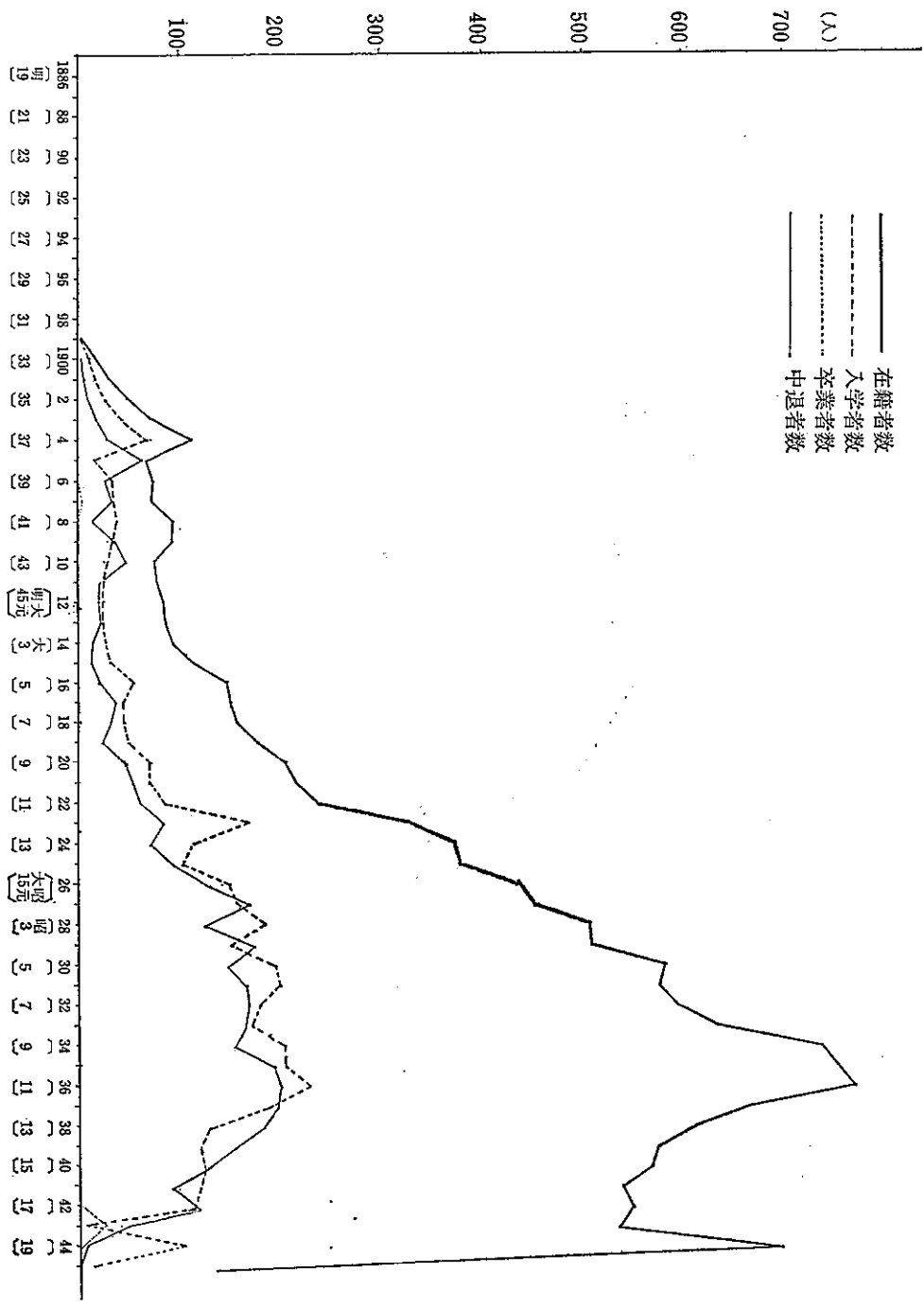
⑨ 大学院（法・文・経・法文）在籍者の文科系各学部（分科大学）学生在籍数に対する比率



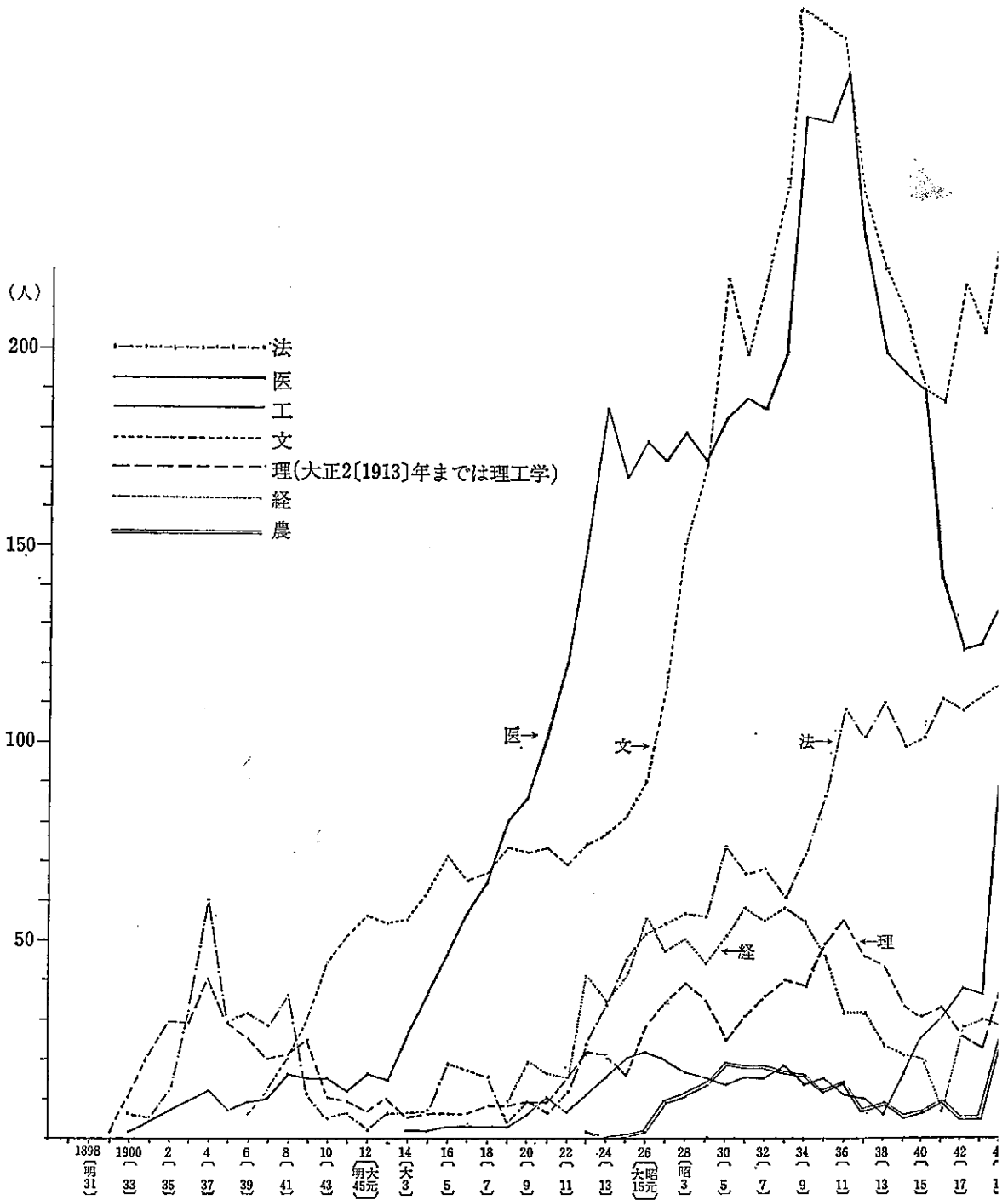
⑩ 東京帝国大学大学院在籍者の学部（分科大学）学生在籍数に対する比率



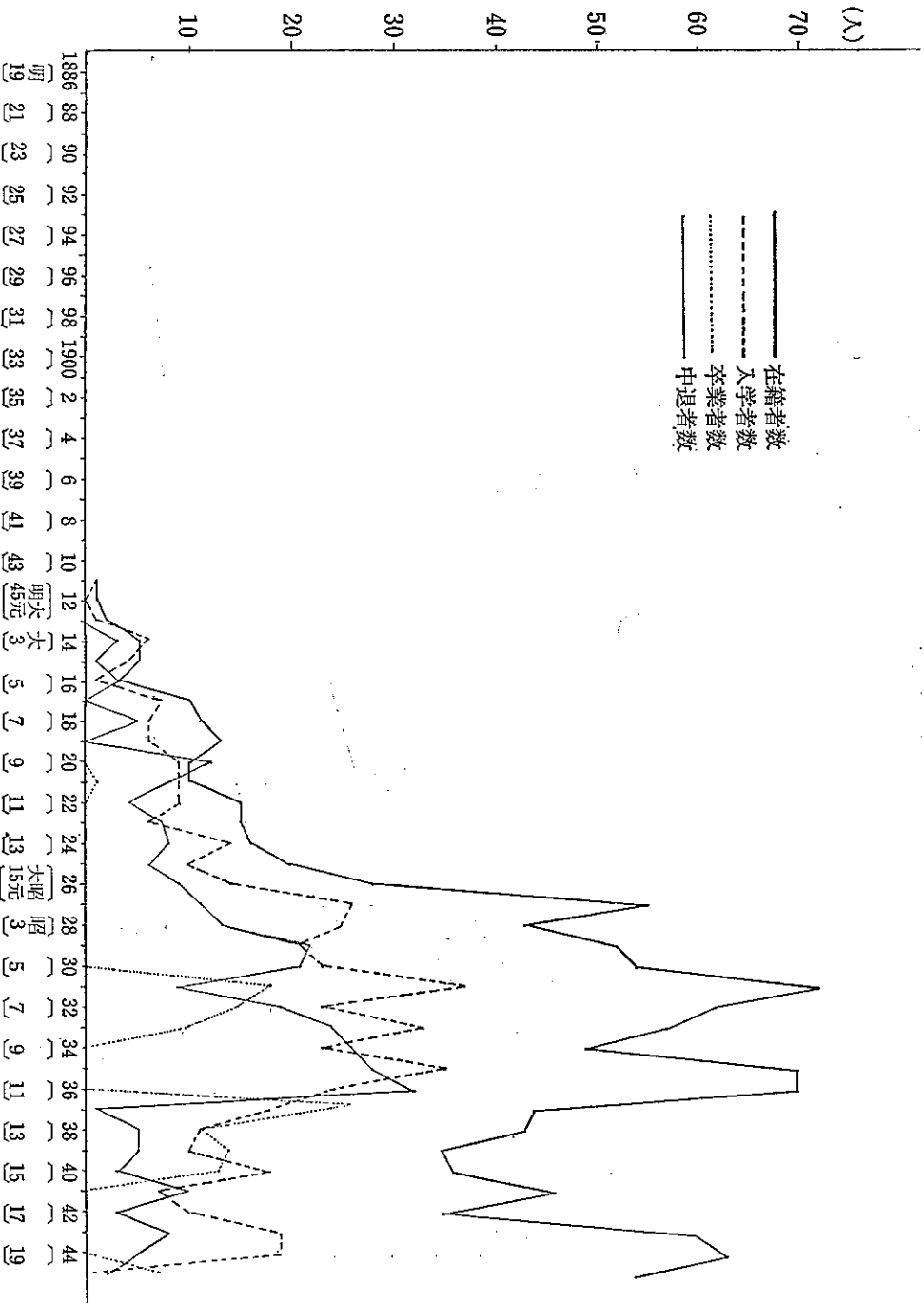
⑩ 京都帝国大学大学院 (全学)



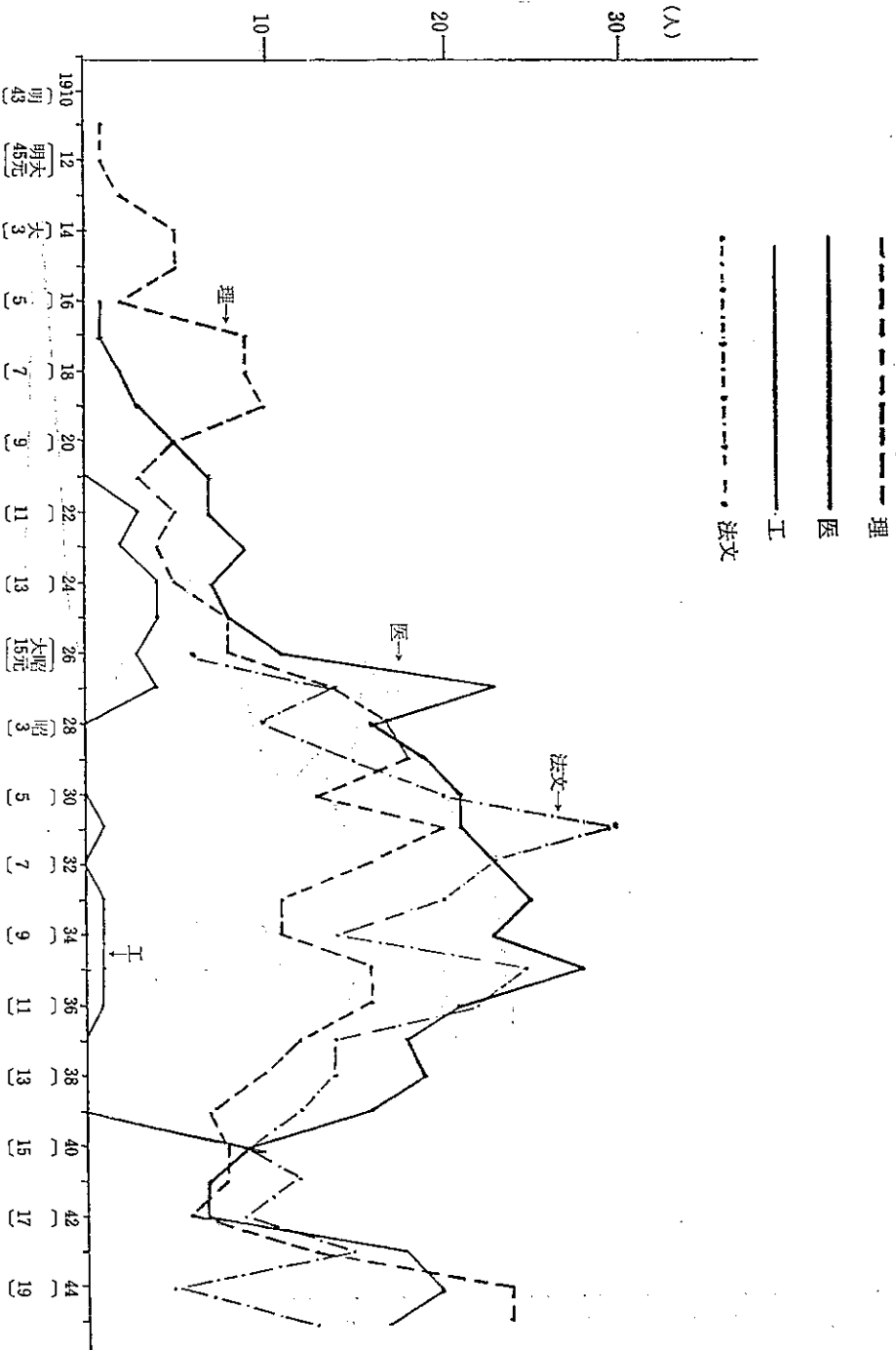
⑫ 京都帝国大学大学院専攻分野別在籍者数



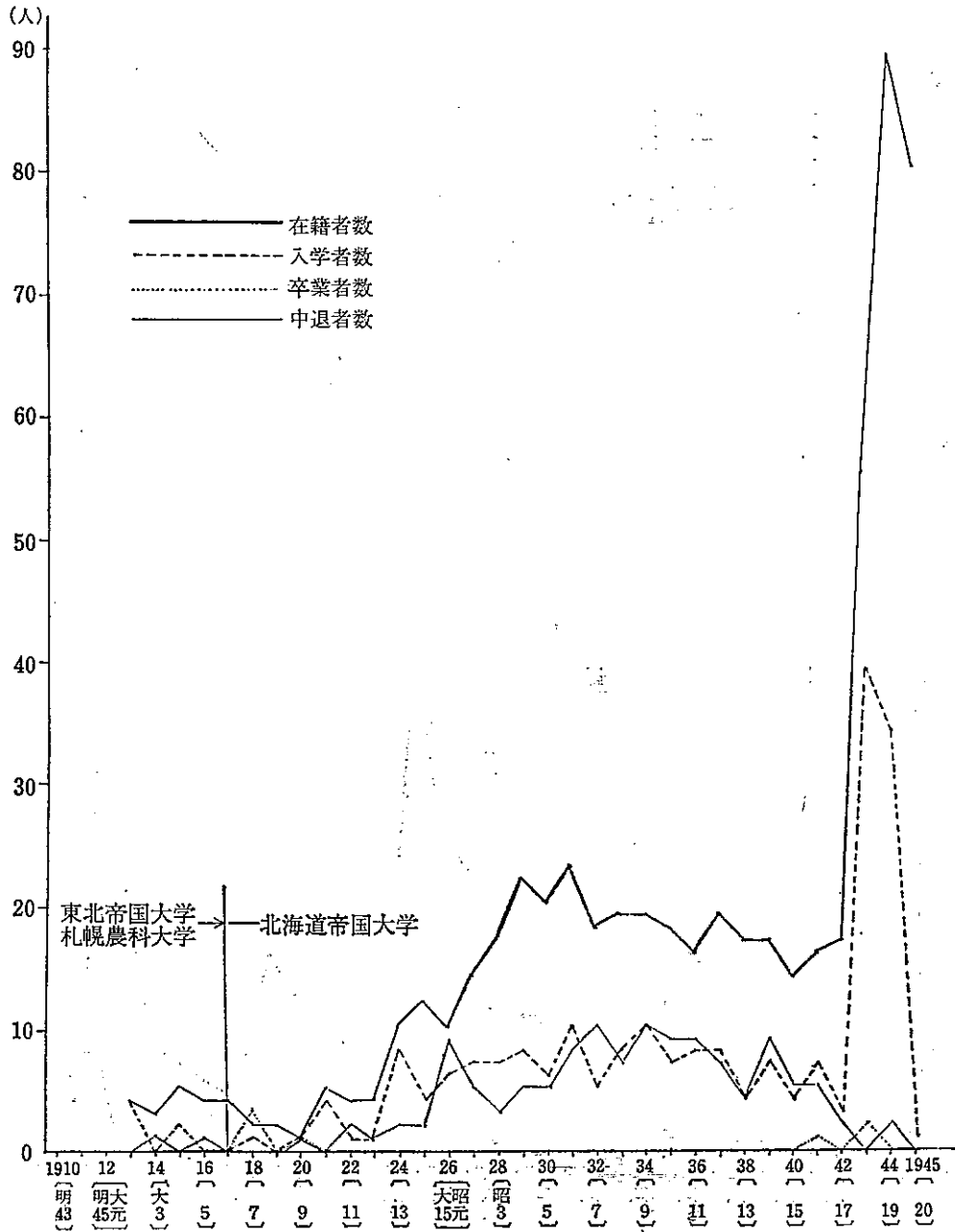
⑬ 東北帝国大学院 (全学)



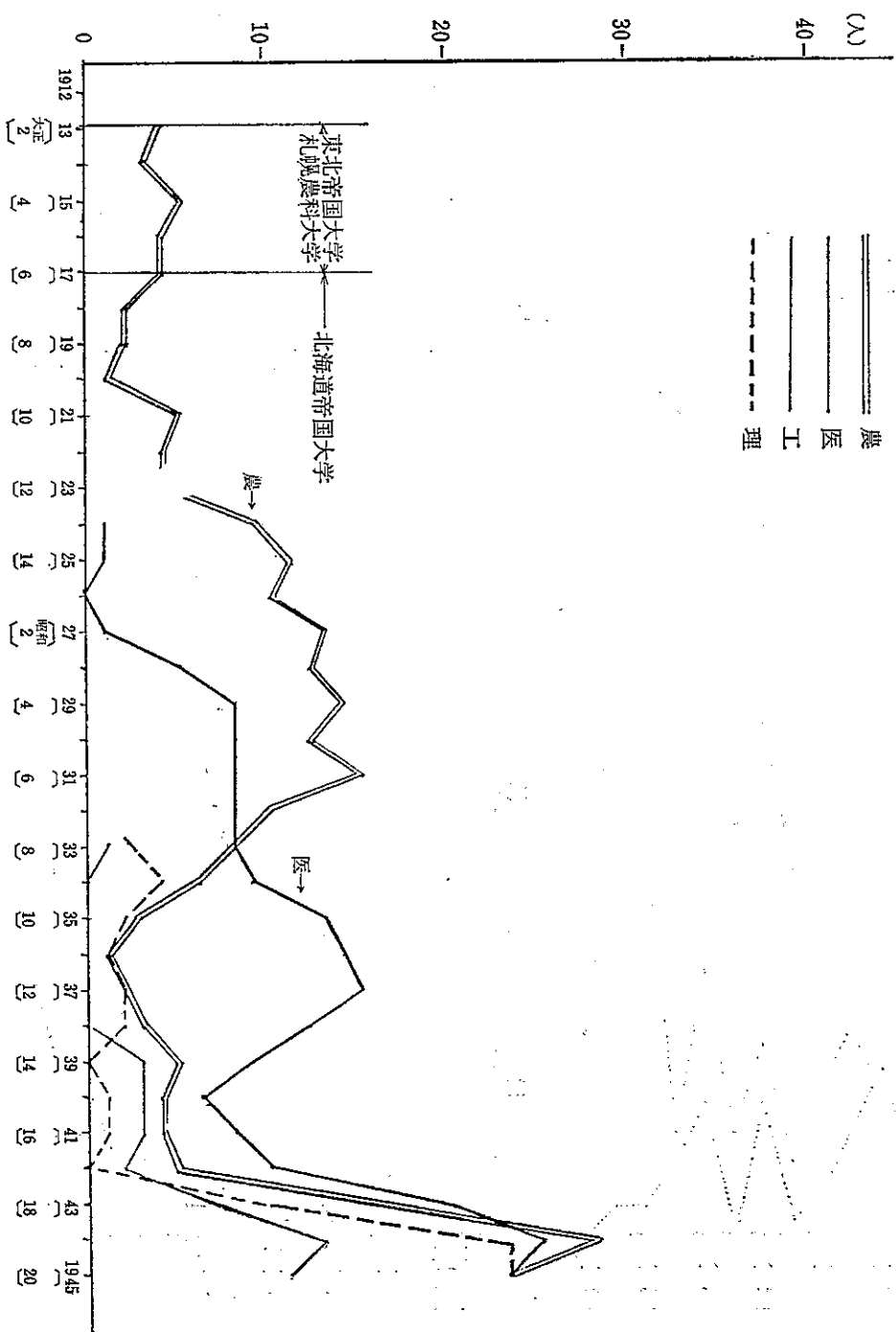
㊦ 東北帝國大學大学院專攻分野別在籍者數



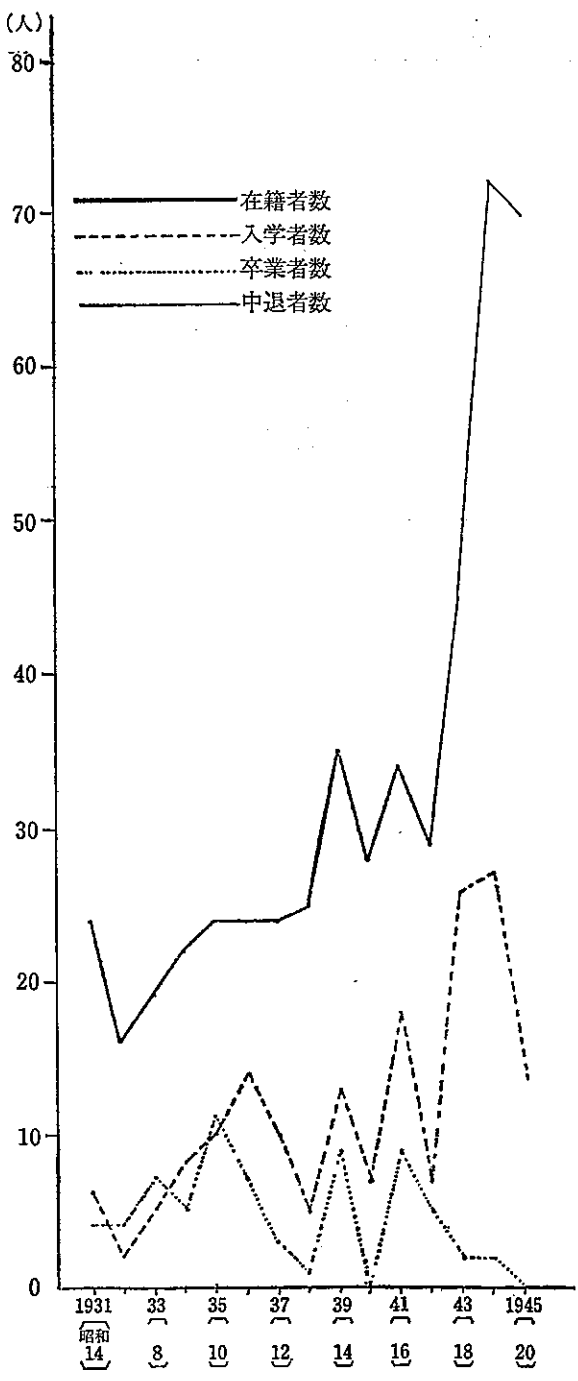
⑩ 北海道帝国大学大学院 (全学)



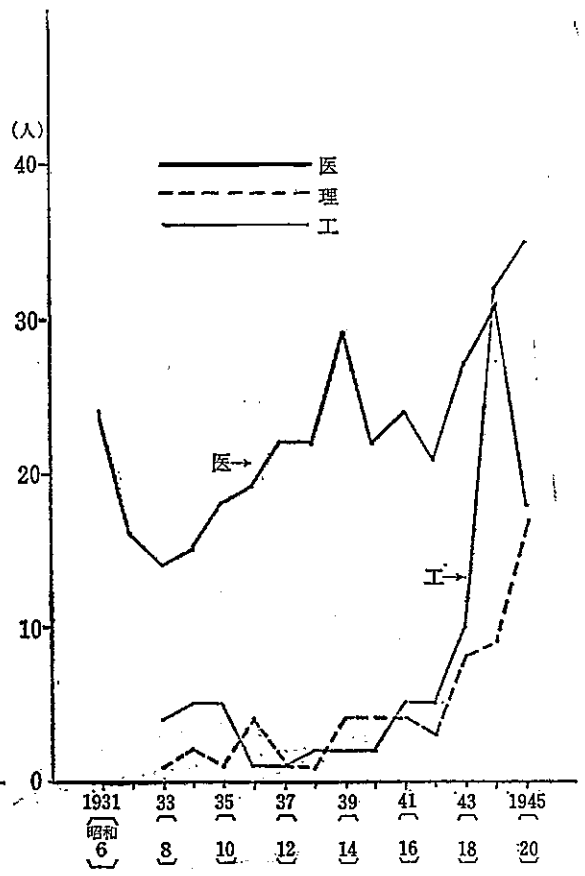
⑬ 北海道帝国大学大学院専攻分野別在籍者数



⑱ 大阪帝国大学大学院 (全学)



㉔ 大阪帝国大学大学院専攻分野別在籍者数



㉒ 名古屋帝国大学大学院専攻分野別在籍者数

㉑ 名古屋帝国大学大学院 (全学)

